

## 手数料ビジネス温床に

五輪汚職 協賛選定不透明さ背景

東京オリンピック・パラリンピックを巡る汚職事件で、大会組織委員会の高橋治之元理事長(?)は逃亡田、出版大手「KADOKAWA」から約1600万円の賄賂を受け取ったとする容疑をもてた形だ。(一面参照)

関係者によると、KADOKAWA側から「スポンサー調整費」として選ばれたとの依頼を受けた元理事長は2016年ごろから、出版分野のスピンサー選定を開始。KADOKAWAと別の大手出版社の2社を合同でスポンサーとする計画を進めていたが、高い公平性が求められる組織委の業務においては「不正の温床」となった形だ。

（KADOKAWA3億5000万円、大手出版社5億5000万円）、つづいての1億円(KADOKAWA7000万円、大手出版社3000万円)を

求出  $A$  215 円要、求出  $A$

「六一ネット！」（訳）として元理事側が  
整料として受け取ったとさ  
れ。WGAが支払った額は「不  
然とまでは言えない」と  
た。理由として五輪への  
入が企業価値を上げるメ

卷之三

**賭賭容疑逮捕  
大庄執行役昌**

## 優秀 強引な面も

な選定ができる仕組みを  
要った」と指摘した。  
【北村秀徳、飯田憲一】

THE JOURNAL OF CLIMATE

年3月期の売上高は約  
1億円に上る。

【松尾知典、加藤佑輔、  
丸生帆】